



## 石巻市内 学童保育こども支援継続中



YMCA 石巻支援センターでは、2012年8月より、石巻市内の学童保育にボランティアを派遣し、プログラムを行なっています。2013年1~3月にも、東京 YMCA リーダーや山手学舎学生、また茨城 YMCA スタッフが市内の学童保育に伺いました。

石巻市内の小学校では、震災により近隣の公園が使用不可能になったり、学校敷地を複数の学校で共有するようになり、学童保育中は外遊びはありません(これまでに9ヶ所の児童クラブを訪問しましたが全てがそうでした)。在籍中の子どもたちは、連日の放課後最大18時までを学童クラブの室内で過ごしており、子どもたち・先生からは早く外遊びを再開したいとの声が聞こえてきます。

学童クラブに YMCA の青年が訪問すると、子どもたちは、こぞってお兄さんお姉さんに話しかけたり、一緒に遊んだり、思っきり笑顔を見せてくれます。学童保育の先生も「子ども達の良い気分転換になる。または是非来て下さい」と好評です。学童保育への派遣は、市役所の子育て支援課を通して各学童に YMCA が訪問する日程を告知し、希望を伺う形式ですが、学童クラブの先生曰く「YMCA のボランティアリーダー派遣は



北九州 YMCA 学童の子どもたちから贈られたカレンダーを見る石巻の学童保育の子どもたちと先生

高倍率で、連絡が来たその日のうちに市役所に返信をしないと、他の学童クラブに押さえられてしまうんです」と言われて驚きました。

2013年4月には、北九州 YMCA 学童保育在籍の子どもたちが作成したカレンダーを、市内3ヶ所の学童クラブに贈りました。これは以前北九州 YMCA 日本語学校の留学生たちが石巻市内の学童クラブでボランティアを行った縁で実現しました。「震災から時間が経っても関心を寄せてくれているのがありがたい。温かい気持ちが伝わります」と先生は言います。子どもたちは、遠く北九州市の子どもたちの活動の写真が散りばめられた手作りのカレンダーを好奇心いっぱいに見つめていました。

その時に訪問した市内のある学童クラブは、学校のすぐ向かいの公民館内にあります。学校は3メートルの波を被り、今年度はまだ再開できていません。学校のフェンスは壊れたままで、子どもを校庭で遊ばせることができません。一方公民館の隣の公園は、遊具は全て壊れ、土壌はぬかるんだままでとても遊べる状態ではありません。子どもたちの多くは、スクールバスで学校に通っています。まだまだ震災前の日常とはほど遠い生活です。



最後にみんなで作ったものと一緒に記念撮影！  
「また会おうね！」



茨城 YMCA スタッフと子どもたち「何ができるかな？」

### 東日本大震災復興支援活動募金

・ゆうちょ銀行(郵便振替)

振替口座:00120-7-714728

名義:公益財団法人 東京 YMCA 会員事務局

・銀行振り込み

みずほ銀行 神田支店 普通 1677931

三井住友銀行神田支店 普通 7656469

名義:公益財団法人 東京 YMCA

※「東日本大震災」とお書き添えください。